

とやまDXパートナー登録情報

事業者名 株式会社フジタ

代表者	代表取締役 梶川 貴子	問合せ先	経理・総務リーダー 松浦 利枝
所在地	富山県高岡市福岡町荒屋敷522	電話番号	0766643710
会社設立日	昭和50年3月18日	Webサイト (問合せフォーム)	https://www.fujita-k.co.jp/
従業員数(人)	15		https://www.fujita-k.co.jp/contact/

営業エリア

☒ 県内全域

☐ その他

富山市

高岡市

魚津市

氷見市

滑川市

黒部市

砺波市

小矢部市

南砺市

射水市

舟橋村

上市町

立山町

入善町

朝日町

得意業種(上位5項目)

☒ 製造業

☐ 卸売・小売業

☐ 建設業

☐ 医療、福祉

☐ 運輸業、郵便業

☐ 金融業、保険業

☐ 宿泊業、飲食サービス業

☐ 不動産業、物品賃貸業

☐ 教育、学習支援業

☐ その他サービス業

☐ その他

支援可能分野

別紙のとおり

使用可能ツール・システム

BOX
King of time
弥生
Google Workspace
BASE
受発注・文書管理システム
CANVA
Wix
Chat GPT
Gemini

支援実績

デジタル活用の講座を自社で開講
TONIOでデジタル活用紹介事例開講
Iotコンソーシアムにて活用紹介

価格体系の公開状況

☒ 基本的な料金を公開している

【別紙】支援可能分野(複数選択)

①業務のデジタル化に向けた環境整備

- ペーパーレス化の推進支援(紙書類の電子化・ワークフロー化・文書共有システム導入支援等)
- オンライン会議システムの導入・活用支援
- コミュニケーションツール(チャット・共有・タスク管理等)の導入支援
生成AIの業務活用環境の導入支援(プロンプト設計、社内利用ルール整備、活用トレーニング)
- クラウドサービス利用環境の構築(メール、ストレージ等の基本的SaaS設定・移行)
- 勤怠・人事評価などバックオフィスのクラウド化支援
オンライン研修・eラーニング環境の導入支援
- 社内情報共有ポータル構築支援(規程・マニュアルの電子化／ナレッジ共有基盤構築)

②業務プロセスのデジタル化・自動化

- 電子契約システム導入支援
- オンライン決済システム導入支援
RPA導入支援(業務分析、ロボット作成・定着支援)
SFA／CRM導入支援(顧客情報管理、営業支援システムの導入・活用)
- Webサイト・ECサイトの構築・改善支援
データ分析基盤の構築支援(販売・顧客・業務データの可視化、簡易BI導入 等)
IoTデバイス導入の初期支援(設備データの可視化、センサー導入、モニタリング)
AIチャットボット導入支援

③デジタル技術を活用した業務最適化

- デジタルマーケティング戦略支援(SNS・SEO・広告・MA活用 等)
予知保全システム導入支援(設備データ分析等)
物流・在庫の最適化支援(IoT・AIを活用した在庫管理・配送最適化)
スマートファクトリー化支援(設備連携、品質データの自動収集、工程データの最適化)
パーソナライズ顧客体験の提供支援(レコメンド、顧客行動分析 等)
デジタルツイン構築支援
VR／ARを活用したシミュレーション・トレーニング支援
データドリブン経営の導入支援(KPI設計・経営ダッシュボード作成)
AI／機械学習の導入支援(モデル作成、画像認識、不良検知、需要予測 等)
サイバーセキュリティ高度化支援(ゼロトラスト導入、継続的な脆弱性診断 等)

④デジタル技術を活用したビジネス変革・価値創造支援

- ビッグデータ分析・可視化支援
経営レベルでの生成AI活用支援(戦略策定、仮説設計、マネジメント活用)
ブロックチェーン活用支援
CO2可視化・削減システム導入支援
企業間データ連携・エコシステム構築支援
新たなデジタルビジネスモデル創出支援(サブスク、プラットフォーム、デジタルサービス)
DX文化醸成・組織変革支援(意識改革、アジャイル体制整備、DX推進体制構築)

会社概要

会社名 株式会社 フジタ
所在地 [本社工場] 〒939-0131 富山県高岡市福岡町荒屋敷522
 [第二工場] 〒939-0131 富山県高岡市福岡町荒屋敷525-9
代表取締役 梶川貴子
設立 1975年3月18日
資本金 1,500万円
取引銀行 富山銀行・高岡信用金庫・北陸銀行・北國銀行・商工中金
事業内容 アルミ鋳造型 設計・製作／鍛造金型 製作／プレス金型 設計・製作／ブロー成形金型 製作
 アルミ製品 削り出し加工／試作型及び各種治具製作
 FACTORY ART MUSEUM TOYAMA 企画運営



会社沿革

- 1961年 4月 高岡市横田町において藤田幸雄が藤田鉄工所を創業し機械部品の旋盤加工を開始
三協アルミとの取引開始、アルミサッシの抜型プレス金型の製造を開始
- 1975年 3月 株式会社藤田鉄工所として法人化、資本金500万円
- 1983年 4月 自動車部品分野に進出 / アルミホイール用鋳造金型の製作を開始
- 1989年12月 「株式会社フジタ」に社名を変更
- 1992年10月 ブロー成形金型製作へ着手
- 1993年 4月 OEM用のアルミホイール金型の製作を開始
- 1994年 7月 3次元CAD/CAMシステムを初導入
- 2000年 4月 海外向けOEMアルミホイール金型の製作を開始
- 2005年 5月 オークマ MILLAC 630H 横形マシニングセンターを導入
オークマ MILLAC 44V 高速回転マシニングセンターを導入
社内サーバーを立ち上げCADデータ・NCデータの一元管理化を実現
- 2010年11月 『富山県中小企業等省エネ設備導入促進モデル事業』採択
- 12月 ホームページ開設 Ver.1
『東京モーターショー2010』に協力出展
- 2011年 9月 OKK VM7 立形マシニングセンターを導入
Facebookページ 開設
- 2013年10月 『中小企業庁 経営革新支援事業』に採択される
- 2014年 3月 ISO9001 (品質) 認証取得 (本社工場のみ) / 福岡金属工業団地内に第2工場を取得 /
ミットヨ製 CNC3次元測定機を導入 / 非接触レーザープローブ測定用の恒温室を設置
- 6月 『平成25年度ものづくり中小企業小規模事業者試験開発等支援補助金』に採択される
- 2015年 3月 三菱電機 ワイヤ放電加工機を追加導入
- 10月 1級技能検定 機械加工 (マシニングセンター作業) 1名合格
- 11月 『平成27年度クリエイティブ産業振興事業助成金』採択される
『フジタ多脳工』人材育成強化 / Webサイトリニューアル
- 12月 『とやまベストビジネスアワード2015』特別賞を受賞
- 2016年 1月 テレビ東京 日経スペシャル ガイアの夜明け 第699回『崖っぷち町工場の逆襲』放映
『町工場にメタルアート作品が並ぶミュージアムを作りたい!』クラウドファンディングスタート
- 2月 北日本放送 (KNB) 日経スペシャル ガイアの夜明け 第699回『崖っぷち町工場の逆襲』放映
- 12月 富山県経営革新事業に「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」が認定 (二回目)
- 2017年 4月 「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」グランドオープン
- 7月 北日本放送「ネッツモノツクリのその先へ」で株式会社フジタが放映
- 2018年 2月 チューリップテレビ経済番組「直撃!とやま流ビジネス戦略」に紹介
- 8月 富山県中小企業診断協会 理論政策新研修講師「わが社の経営革新」にて講師を務める
- 10月 富山県産業観光ホームページ大賞「富山県商工会会長賞」を受賞
- 2019年 1月 立形マシニングセンター増設、OKK VM53Rを導入
- 2020年 1月 社内新聞『FUJITA&MUSEUM TIMES』の発行をスタート
- 2月 国立大学法人 長岡技術科学大学「SDGs講演会」にて講師を務める
- 4月 クラウドストレージサービス (Box) を導入
- 9月 VR工場見学サイトオープン
- 2021年 1月 Webカメラシステムを導入
- 3月 株式会社フジタ Youtubeチャンネルをリリース
- 9月 『HANAGATA』プロジェクトをリリース
- 10月 5軸加工機 (DMGMORI製 DMU50) を導入
- 11月 ITコーディネータ協会より優秀賞を受賞
- 2022年 3月 株式会社レイズアドヴァンスをグループに加える
- 10月 第3回くだらないものグランプリにエントリー、「LOVE LOVEメリケンサック」でグランプリを獲得
- 11月 富山県立大学 ロボティクス学科にて講師を務める / 「Creative TAKAOKA Festival」に出展

事業内容

フジタは、樹脂製品を作る金型、アルミ製品を作る金型など、いろいろな素材の最終製品を作るための「金型」を作っている金型メーカーです。あえてプレス専用、鍛造専用というふうな1つの分野に特化せず、さまざまな分野に携わっていることが大きな特徴。創業者の「小さくてもオンリーワン」信念を受け継ぎ、多分野の技術力を磨き、常に新たな知識を吸収し、専門性を高めることで、幅広い業界からのニーズに対応しています。



精密なアルミ製品を量産する アルミ製品用鍛造金型

最終的にアルミ製品を作るための金型を設計・製造しています。金型のほとんどは金属に切削加工や旋盤加工、放電加工等を施し各部品を組み上げて完成します。主に自動車用アルミホイールなどの鍛造金型を主力に製造しています。各メーカーとの付き合いは30年以上と長く、様々な困りごとや開発案件に直接対応できることがフジタの強みです。ご要望に応えることでお客様の課題解決のお役に立ちながら経験値を積み上げてきました。



革新的な機械構造 5軸加工機

5軸加工機は、X,Y,Zの3軸に2軸の回転傾斜軸が追加された機械です。1回の取り付けでより多くの加工ができるため、短納期が見込めるだけでなく、複雑な形状の加工や高精度な仕上がりを実現します。フジタでは、5軸加工機を駆使し、より早く、より正確に、より美しく金属を削りあげています。切削の自由度が高い機械であるため、お客様のニーズに応えるだけでなく、創造性豊かな製品をも生み出します。医療関連や宇宙関連など幅広い分野のニーズに対応しています。



1点ものにも対応 アルミ削り出し加工

金型製作で培われた切削加工データにより、自動車用アルミホイールや、各種試作品、およびデザイン性の高いアルミ製品の切削加工が得意です。主な顧客は自動車用アルミホイールのメーカーなど。コンセプトカーなどのワンオフ（1点もの）パーツの製作や、試験用や展示会用の小ロット製品にも柔軟に対応できます。



イメージ

試作開発に貢献する ブロー成形金型

化粧品・医薬品・食品分野などにおけるチューブなどを成形する樹脂用のブロー成形金型の制作を行っています。主な顧客は容器メーカーなど。顧客の試作開発において、柔軟かつ迅速にきめ細やかな対応を行うことで、新製品のスムーズな立ち上げに貢献しています。顧客の開発部門との課題解決にしっかりと寄り添うことで、ハイレベルな製品開発を可能にしています。



ファクトリーアートミュージアム

当社工場に隣接する「ファクトリーアートミュージアムトヤマ」は、メタルアート作品が並ぶギャラリー。その数々は、全国各地の町工場で働く製造業者やアーティストの方々から寄付、もしくは預かっているものです。このミュージアムを開設したきっかけは、中小企業の新製品開発に特化した禅とマインドフルネスを活用した講座「zenschool」との出会いでした。本人のやりたいことを内観から見つけ出し、新規事業の立案につなげるのが同講座の考え方です。その『禅問答』の末にたどり着いたのが、大好きなミュージアムを作ることだったのです。2017年の開設以来、「町工場にミュージアム」という珍しさが感度の高い人たちの好奇心を刺激し、徐々にアーティストやデザイナーの方々が訪れるように。今では情報発信や交流の場と化しています。また、学校の校外学習など一般の方々が、工業団地内に足を踏み入れる機会の創出にもつながっています。



主なイベント

zenschool



zenschoolを開講。この講座は、単に製品開発のノウハウを伝授するものではありません。自分の内に眠っている好奇心を見つけ出し、会社の資産と照らし合わせたくて新製品や新規事業を創造していくものです。

哲学カフェ



一般の人が参加できる講座です。zenschoolの1期生がコーディネーターを務め、「選挙とは何か」「戦争と平和」など様々なテーマで開催。時には外部講師を招き、テーマを深掘りするため、物事を深く考える習慣が身につきます。

トゥルーフォト トヤマ撮影会



一般の人が参加できる撮影会。会社のホームページに掲載する写真を通して、イメージアップを図りたいとお考えの方に好評です。その他、会社のパンフレットや名刺、SNSのアカウントなどに掲載する写真撮影も可能。真の自分を見つけてください。

未来への取り組み

未来のフジタを創るのは、今のフジタです。職場環境の改善からSDGsの取り組みまで社員一人ひとりが力を合わせながら活動を継続することが、当社の財産となり、社会貢献につながると信じています。



フジタのカイゼン活動 「カワルンゼ」

年に4回、全社員で1日かけてカイゼン活動を実施。3S活動をベースに、美しく効率的で安全な職場づくりを行っています。と同時に、社員一人ひとりが仕事を自分事として捉え、課題解決に何が必要なのかを考えるために、今年の数値目標や活動内容を発表する時間も設けています。



本気で遊ぶ くだらないものグランプリ

全国各地に、日本の産業を下支えしている町工場があります。「くだらないものグランプリ」は、町工場で働く人たちの優れた技術でユーモアのある一品を企画・製作・出品し、「くだらないもの日本一」を競うコンテスト。フジタは第1回から出場し、3回目で優勝を獲得しました。〈「LOVELOVEメリケンサック」〉



縁をつなぎ、可能性を広げる メタルアート

製造業のものづくりというカテゴリーを超え、可能性を広げるために、そして新たな価値観を生み出すために、ミュージアムでメタルアートを展示しています。ゆくゆくは、町工場にミュージアムが付随した形ではなく、ミュージアムの中に町工場があるという形を目指しています。



広い視野でデジタル活用 フジタのDX道

中小企業だからこそできるDXの取り組みを伝えるために、フジタ主催の「DXはじめての一步講座」を行っています。また、当社の日常や新たな挑戦を紹介するYouTube動画や、スマートフォンなどで楽しめるバーチャル工場見学など、デジタルを活用した積極的な発信にも力を注いでいます。



できることを着実に SDGsの取り組み

国籍や性別にとらわれず社員の平等を実現し、質の高い教育を提供しています。同時に、社員が常にチャレンジできる環境を提供。働きがいのある人間らしい仕事を推進しています。また、持続可能な消費と生産を構築するために、社会に求められる高品質な製品づくりにも力を注いでいます。

最新の取り組みは
こちらをチェック!

最新情報



公式YouTube



DX 中小企業だからできる 初めの一步講座



「DX」で頭を抱えているあなたへ

中小企業だからこそできるDXがあります。

この講座では当社がこれまで取り組んできた社内でのデジタル化への取り組みを部門ごとに全てご紹介します！DXと聞くとなんだか難しそう、大企業の取り組みと思いがちですが、実はデジタル化に取り組んだことがない中小企業のほうがハードルが低いんです！

詳しい人材がない！ 潤沢な予算がない！

そんなないない尽くしの環境で何から手をつければいいのかわからない！**“DXの迷える子羊”**向けの講座です。難しいことは一切抜き！中小企業だからこそできる取り組みがこの講座にあります！

こんな子羊におススメです

- ・DXに興味のある子羊 ・何から始めればいいのかわからない子羊
- ・DXがよくわからない子羊 ・自社に関係ないと思っている子羊
- ・自社に合うツールがわからない、ツール迷子の子羊
- ・アンチシステム派に打ちのめされている子羊

参加者の声

電子化をやり始めたらどんどん進んでいくのだと感じた。作業が効率よく行えるようになり、時間に余裕ができて新しいアイディアが生まれていると思った（製造業・男性）



ペーパーレスや時短の参考になりました（製造業・女性）



特に製造系の改善に興味深く勉強になりました。以前からSNSで拝見しており興味深く感じておりましたので、いつか社員も連れて直接工場見学に伺えれば幸いです（男性）

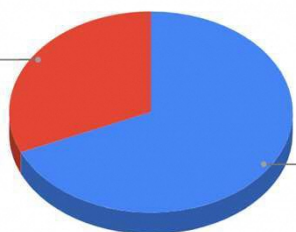


（成功談だけではなく、）失敗したり始めたばかりという状態のものもあり、逆にためになりました（製造業・女性）



アンケート結果 満足度100%

満足
31.6%



非常に満足
68.4%

2022年8月現在

概要

開催日：お申込みフォームにてご確認ください。

時間：2時間

参加費：3,000円/人

定員：8名（最小開催人数は5名です）

※8名以上の団体様は別途開催日を設定いたします。

※Zoomでの開催も可能です。遠方の方はご検討ください。



申込み
フォーム

内容詳細

- 製造部
 - Webカメラ タッチモニター リモートワーク
- 広報・採用・営業
 - SNS ブログ メルマガ Youtube
- 経理・総務
 - 電子申請 勤怠システム
- システム
 - 文書管理 受注管理 生産管理 クラウドストレージサービス（Box）

講座の様子



100%事例！

お問い合わせ



株式会社フジタ

〒939-0131

富山県高岡市福岡町荒屋敷522

<https://www.fujita-k.co.jp/>

info@fujita-k.co.jp

0766-64-3710

フジタウェブサイト

